

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」大府校			
○保護者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30	(回答者数)	24
○従業者評価実施期間	2025年11月1日 ～ 2025年12月20日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日本人とブラジル人スタッフが在籍しており、日本語とポルトガル語の二言語での療育や相談が出来る。	職員同士のコミュニケーションを図り、悩みなどを相談・解決・共有しています。	翻訳機などの導入も検討し、コミュニケーションを密にしていきたいです。また両言語の勉強会なども行っていきたいです。
2			
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育のため、集団療育と比べると同世代とのコミュニケーション能力を育むのが難しい。	個別療育を中心とした療育であるため、大人とのコミュニケーションになってしまう。	不定期ではあるが、イベントの企画や小集団での活動を取り入れられるようにしていきたいです。
2			
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」大府校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数 30

回収数 24

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	2				法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	21	2	1			法令で必要とされる配置数以上を配置しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	16	5	2	1	トイレや階段等は少し狭く感じる時があります。建物の構造上仕方ない。	療育室は2階にありますので、手すりの設置、必ず付き添っていく、声掛けをするといった工夫をしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	3				暑さ・寒さに関してはエアコンを使用し、快適な環境にしています。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	24					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	24					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	24					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23			1		言語の壁がありますが、翻訳機を使うなど分かりやすく伝えられるようにしていきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	1		1		支援計画に沿った支援、保護者との情報共有を行っています。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	24					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	10	2	8	4		ご希望があれば検討していきます。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	24					分かりやすく丁寧な説明できるように努力いたします。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	1				分かりやすく伝えられるように努力いたします。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	2	2	6		家庭で実施できる内容の情報提供をしています。また職員が情報提供できるように研修を行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	22	2			学校でのトラブルや体調面など連絡を取り合っています。	毎回、支援終了後にフィードバックの時間を設けています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	1		3	定期的ではなく自主的に面談の依頼をしています。必要な時にはいつでも行われます。	家庭で実施できる内容の情報提供を行っています。必要な時はいつでも対応できるようにいたします。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	24					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	10	2	8	4		方法を考え、開催できるように検討していきます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	20	1		3		受け入れる体制を整えて、迅速かつ適切に対応してまいります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	23	1				いつでも連絡が取りやすい環境を整えていきます。また、どの職員でも対応できるように徹底します。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	22			2		SNS等を活用し、教室全体で取り組んでいきたいと思っています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	22			2		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫へ保管し、端末にはパスワード設定の対応を行っています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	2		9		マニュアルを作成し、研修を実施いたしております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	3	1	9		定期的に避難訓練等に取り組んでおります。その様子を発信していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	2		7		安全のための計画を掲示するなど検討していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	1	1	5	事故や怪我をした事がないので、そういったやり取りはしていません。	事故等が発生した場合を想定した研修を行っています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24					
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1				さまざまなプログラムを用紙して楽しんで取り組めるように準備していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	24					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」大府校					公表日	2026 年 2 月 14 日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースを確保しています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされる配置数以上を配置しています。					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		療育室が2階にあり、急勾配のため、手すりをつけています。また必ず付き添っていく、早めに声掛けをする等しています。					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		療育室の匂いが気になるとの意見があり、大掃除を行いました。その後も清掃を行い、活動しやすい空間を作っています。					
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		療育室が個別の部屋になっております。いつでも使用できる環境です。					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		会議を開いて職員に周知しています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様へ評価表の記入をお願いし、業務改善につなげていきます。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的に話し合いの場を設けて、業務改善につなげていきます。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在実施の予定はありませんが、今後必要に応じて社内で実施を検討してまいります。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		月に1度、オンラインによる社内研修を行っています。外部研修にも積極的に参加しています。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		個別支援計画を基に支援プログラムを作成しております。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		モニタリングを行い、個別支援計画を作成しています。また法人全体で統一したアセスメントシートを使用しています。					
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画作成の際には職員と会議を行い、検討しています。					
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		職員間で共有し、計画に沿って支援しています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		毎年アセスメントを行っております。統一したアセスメントシートを使用しています。					
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		アセスメントを行い、本人や家族の状況を確認して、計画を立案しております。					
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		日々の療育の内容や共通の利用者様への対応など、1つ1つ確認し進めています。					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		個に応じた支援内容を考え、楽しく学べるようにしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		アセスメントをもとに目標を設定して、個別支援計画を作成し支援しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		その日の利用者を確認して、役割分担や予定を確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		片付け・清掃を行って残業をせず業務を終了することを優先しています。翌日に振り返りを行って、気づいた点を共有します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		支援終了後、記録を残し利用者の様子や成長の変化に合わせて指導内容や方法を更新しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		6カ月に1度、モニタリングを行い見直しをしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○		自立支援や創作活動、余暇の提供などを考えて取り組んでおります。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		利用児童が自分の意思表示ができるように見守り、必要に応じて手助けをしています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		○		必要に応じて児発管または、担当指導員が参加できるように体制を整えています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		関係機関と情報を共有して支援しています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		移行時期には、これまでの支援の経緯を含め、現在の状況を情報共有しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		必要に応じて併用児童についての情報共有を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		必要に応じて併用児童についての情報共有を行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		現在のところ計画・実施の予定はございません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		職員が参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎回、支援後、保護者とのフィードバックの機会を設けています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		家庭で実施していただける内容の情報提供をしています。また、職員が情報提供できるように研修を行っています。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に丁寧に説明するとともに事業所内に掲示しています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者や利用児童の思いを聞き、支援内容を作成できるように取り組んでいます。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		アセスメントやモニタリングを行って目標を設定し、個別支援計画を作成しています。説明して保護者の同意を得ています。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		家族支援を活用し、時間をとって対応しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		方法を検討し、開催できるように工夫しています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		いつでも相談や申し入れを受け入れる体制を整えており、適切に対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HPやSNSを利用して情報を発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報が記載された書類は鍵付き書庫へ保管しています。個人情報にアクセスできる端末は、パスワードを設定して適切な対応を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		利用児童や保護者の母国語に応じて、適切に意思疎通、情報伝達を行っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		現在のところ計画・実施の予定はございません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルを作成して、研修・訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPの策定と随時見直しを行い、避難訓練を月に1回取り組んでいます。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		体験や見学、アセスメント時に確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		○		食事の提供は基本的にありません。アセスメント時に確認をしています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、研修や訓練を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		契約時に重要事項説明書にてお伝えしています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起きた時は、報告書を作成して職員間で共有してから保管しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		マニュアルを作成して、研修を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		保護者に十分説明して同意書への署名と個別支援計画に記載します。契約時にも説明しています。	